

チョップドルーフの

イケてる500!



文：田中 亨 撮影：横澤靖宏
ウイングオート ヨーロピアンショールーム
(☎052-400-5554 http://www.wingauto.co.jp/
総輸入元 / G-Tech JAPAN (☎052-409-9990)

G-TECH SPORTSTAR GT

世

界初のチョップドルーフのアップデート500(しかも市販車世界第1号車)が遂に日本上陸を果たした。このスタイリッシュで刺激的なホット・ハッチの名称は「Gテック・スポーツスターGT」。

スポーツスターGTの最大の特徴は、500ファンならひと目で違いが分かるであろうボディライン。ピラーから上部を全て作り直し、ノーマルから約10cmもチョップドルーフ化したそのスタイルは、初代モデルのイメージを忠実に踏襲したノーマルの500とは完全に別モノ。全体的にはハッチバックとクーペの中間的なスタイルといった感じなのだ。上下幅が極端に薄くなったウィンドーのインパクトもあり、一種独特なオンリーワンな雰囲気を出している。

またエクステリアのみならず、一見ノーマルに見えるインテリアも、ステアリングやシート位置が低く設定されており、Gテックというチューニングメーカーのこだわりを感じる事ができる。

見た目のインパクトだけでも十分に存在価値があるスポーツスターGTだが、その真骨頂は走りの良さにある。吸排気&コンピュータのリセッティング



サイドとリアのウィンドーはアクリル製となっている。チョップドルーフ化にともない、ピラーやルーフだけでなく、ウィンドー類も全て専用設計されている。

などでチューンナップされたエンジンは、224PSという最高出力もさることながら、低中速域でも十分なトルクを発生するので、チューニングカーの割には非常に扱い易い。

おまけに、チョップドルーフ化されたことにより、重心がノーマルボディよりも明らかに低くなっている上に、ボディ補強によりシャシー剛性も向上している。このため、コーナリング時や高速巡航時の安定性は、一般的なチューンド500の比ではない。スタイル優先の人でも、走り優先の人でも、どちらでも満足できるのがスポーツスターGTというコンプリート・カーなのである。

このスポーツスターGTはドイツ本国でしか生産されない。手に入れた人はGテック・ジャパンにオーダーすることになるが、ベースモデルは何でもOK。ノーマルの500でもアバルトでもMTでもATでもチョイス出来る。また、ルーフをカットする加工の際に、ボディ全体をオールペンすることになるので、ボディカラーも自由にオーダー出来る。もちろん純正色以外のカラーもOK。世界に1台の完全なオリジナルカラーを注文するのも面白いが、このデモカーのように、アバルトに設定のないイエローをあえてチョイスするのもありだろう。

何から何まで魅力的なスポーツスターGTだが、唯一のネックが納車までの時間。発表されるやいなや、ヨーロッパ各国でも問合せが殺到中の超人気モデルなので、オーダーを入れてから納車されるまでには半年程度の時間がかかる見込み。もっとも、これだけ完成度の高いオンリーワンなコンプリートカーであれば、待つ価値は十分にあるだろう。

DETAIL

1/シート位置は低く設定されている。レカロのフルバケットタイプを装着。後席は取り払われている。2/インテリアは一見するとノーマルに見えるが、ステアリング位置は低くなっている。3/ホイールは17インチの「Corse」。タイヤサイズは215/45R17。4/エンジンはタービンを変更しインタークーラーを追加。ECUも書き換えられており、最高出力224PS/5200rpm、最大トルク34.2kg・m/3650rpmを發揮する。5/リアウィンドーはご覧のとおり、かなり天地が低い。

